

独教事第29号  
令和4年4月28日

各都道府県知事 殿

独立行政法人教職員支援機構  
理事長 荒瀬 克己  
(公印省略)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和4年度の標記事業につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

ついては、受講者の推薦がある場合は、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、研修情報登録システムにより、令和4年6月22日（水）までに、それぞれ受講者の推薦をお願いします。

実施要項等は、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>) よりダウンロード可能となっております。

なお、本事業の目的は、各学校・地域における研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。各都道府県私立学校主管部課におかれましては、事業の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、事業内容が変更となる場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

問合せ先

独立行政法人教職員支援機構  
事業部事業企画課連携推進チーム（中山、相澤）  
〒305-0802  
つくば市立原3番地  
TEL:029-879-6632, 6631 FAX:029-879-6645  
E-mail:sangyou@ml.nits.go.jp

## 令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業 実施要項

### 1 目的

本事業は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

### 2 主催 独立行政法人教職員支援機構

### 3 共催 文部科学省、教育関係団体・大学等（[別添2]のとおり）

### 4 期間、会場、定員、教科、内容等

[別添2]のとおり

### 5 受講者

#### (1) 受講資格

①各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

②高等学校、中等教育学校又は中学校等（特別支援学校の高等部、中等部を含む）で産業教育を担当する教諭等

#### (2) 推薦人数

受講定員は、[別添2]のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能な場合があるので、積極的な推薦を行うよう努めること。

#### (3) 推薦手続

推薦期限は、令和4年6月22日（水）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

国公立大学法人については、担当部局が取りまとめの上、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

#### (4) 受講者の決定

各都道府県、指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を大幅に超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

### 6 経費

本事業に係る経費については、受講者一人当たり[別添2]に定める「受講費限度

(別添1)

額」の範囲内において派遣者または受講者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、受講者の決定通知後(例年、研修実施後、約2～3か月目処)、教職員支援機構より別途通知する。

※詳細は、[様式1]「推薦名簿」の「記入上の注意」(注6)を参照のこと。

## 7 その他

推薦者は、修了者に対し、受講の成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

(別添2)

## 令和4年度 産業・情報技術等指導者養成事業

教科 (研修分野)	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額	
農業	A-1		R4年度は実施しません						
工業	B-1	20	<遠隔> 令和4年8月23日(火)～25日(木)、 8月30日(火)、31日(水) <課題作成期間>8月26日(金)、 29日(月)	オンラインによる実施	教科「工業」における授業改善に関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業の改善にむけて、講義や演習を通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人 金沢工業大学	41,600	
商業	C-1	40	令和4年8月1日(月) ～8月5日(金)	大阪芸術大学 (大阪府南河内郡)	教科「商業」における「指導と評価の 一体化」のための学習評価の在り 方に関する講義と実習	学習評価の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び商業教育の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人塚本学院 大阪芸術大学	26,200	
水産	D-1	15	令和4年8月22日(月) ～8月26日(金)	愛知県立三谷水産高等学校 (愛知県蒲郡市)	科目「海洋情報技術」の指導と水産 におけるICT活用の実践研修	教科情報の代替として設置する際に必要となるプログラミング指導における知識と技術に関する研修および水産におけるICT活用の実践的な研修 ※なお、受講生は個人用パソコンを持参する場合、事前にスペック等を確認しておくこと。	海文堂出版株式会社	66,600	
家庭	E-1	20	令和4年8月8日(月) ～8月10日(水)	全国高等学校長協会家庭部会 事務局 (東京都千代田区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産業に 関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最新情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、家庭科の指導力を高めることを目指した研修 ※なお、受講生には、年間指導計画(指導と評価の計画)及び学習指導案等の事前課題提出を求める場合がある。	全国高等学校長協会 家庭部会	19,000	
看護	F-1	20	令和4年8月3日(水) ～8月5日(金)	オンラインによる実施	高等学校看護科における教育を完 実するための講義と演習	教科「看護」の指導内容・指導方法に関する講義や、学習指導計画・学習評価に関する演習を通して、看護科指導力を高めることを目指した研修 ※受講生は、学習指導・生徒指導に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人 弘前大学	24,500	
情報	G-1	20	令和4年8月3日(水) ～8月5日(金)	大阪芸術大学 (大阪府南河内郡)	教科「情報」における主体的・対話 的で深い学びの実現に関する講義 と演習	教科「情報」における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた実践的な講義と演習を通して指導力の向上を目指した研修	学校法人塚本学院 大阪芸術大学	42,000	
福祉	H-1	30	令和4年8月17日(水) ～8月19日(金)	仙台大学附属明成高等学 校(宮城県仙台市)	実践的介護の知識及び技能の向上 を図るための講習(教員介護知識技 能講習)	ICT活用や介護ロボットを取り入れた福祉教育の在り方及び介護過程の展開に関する指導力の向上を図るとともに、コミュニケーション演習によりコミュニケーションスキルの向上を図ることを目指し、また地域や産業界との連携の実践により、多角的な福祉人材育成に繋げる研修	全国福祉高等学校長会	32,500	
技術・ 家庭 (技術)	I-1	20	令和4年7月25日(月) ～7月29日(金)	オンラインによる実施	技術によってよりよい生活や持続可 能な社会を構築する資質・能力の育 成を目指す技術分野の指導と評 価	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報等のテクノロジーについて理解させるとともに、これらを用いて社会における問題を解決できる資質・能力を育成するための指導と、学習評価に関する研修	国立大学法人 宮城教育大学	56,800	
技術・ 家庭 (家庭)	J-1	20	令和4年8月4日(木) ～8月5日(金)	埼玉大学 (埼玉県さいたま市)	技術・家庭(家庭分野)指導者養成 研修「家庭科を広げる・深める」	新学習指導要領を踏まえた幼児・高齢者理解、被服における講義、実験・実習などを通して、幼児・高齢者との関わり方、被服に関する知識及び技能の習得を目指した研修(ただし、コロナ禍のため幼児・高齢者との触れ合い体験実習は実施できない場合あり) ※なお、受講生は指導計画や実践に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人 埼玉大学	33,900	

(別添3)

# 日 程 表

[ 高等学校 ]  
【 工業 : B - 1 】  
【 商業 : C - 1 】  
【 水産 : D - 1 】  
【 家庭 : E - 1 】  
【 看護 : F - 1 】  
【 情報 : G - 1 】  
【 福祉 : H - 1 】

[ 中学校 ]  
【 技術 : I - 1 】  
【 家庭 : J - 1 】

※ 添付した各教科の日程表については、4月28日現在のものであり、今後変更になる場合もあります。

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(工業：B-1)

団体名 金沢工業大学

時 限	1 時限 8:40~10:20	休 憩	2 時限 10:35~12:15	昼 休 み	3 時限 13:15~14:55	休 憩	4 時限 15:10~16:50	自主活動時間 17:05~ 18:00
8月23日 (火)	<b>開講式</b> オリエン テーション 約20分 (講義) <b>新しい時代の学習 環境と学ぶ力</b>	休 憩	(講義) <b>PBL 概論</b>	昼 休 み	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ①</b> プロジェクトテーマの決定ま での調査・分析・意思決定	休 憩	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ②</b> プロジェクトテーマの決定ま での調査・分析・意思決定	質疑応答
8月24日 (水)	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ③</b> プロジェクトテーマの決定ま での調査・分析・意思決定	休 憩	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ④</b> インタビュー	昼 休 み	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ⑤</b> プロジェクトテーマの決定ま での調査・分析・意思決定	休 憩	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ⑥</b> プロジェクト活動計画の策定	質疑応答
8月25日 (木)	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅰ⑦</b> 活動および活動計画の発表	休 憩	(講義) <b>科学技術者倫理</b>	昼 休 み	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅱ①</b> 授業計画、大学授業例紹介	休 憩	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅱ②</b> 授業計画	質疑応答
8月30日 (火)	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅱ③</b> 授業計画発表会	休 憩	(講義・演習) <b>プロジェクト活動Ⅱ④</b> 授業計画発表会	昼 休 み	(講義・演習) <b>ループリック作成演習</b>	休 憩	(講義・演習) <b>ループリック作成演習</b>	質疑応答
8月31日 (水)	(講義・演習) <b>ループリック作成演習</b>	休 憩	(講義・演習) <b>ループリック作成演習</b>	昼 休 み	(講義) <b>教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向(仮題)</b>	休 憩	(講義・演習) <b>教育事例 全体リフレクション</b>	<b>閉講式</b> 16:30~ 17:00

実施会場：オンラインによる実施

(別添1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(商業:C-1)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
1限				2限				3限				4限				5限			
8月1日 (月)		受付 9:30~	開講式 10:00~ 13号館2F 13-208 大講義教室	専門教科「商業」における「指導と評価の一体化」のための学習評価の在り方 文部科学省初中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 田中 圭 13号館3F13-208講義教室				新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の学習評価の在り方(1) —学習評価の進め方— 富山県教育委員会県立学校課 指導主事 山科 博子 9号館5Fコンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の学習評価の在り方(2) —学習評価の実践事例— 富山県教育委員会県立学校課 指導主事 山科 博子 9号館5Fコンピュータ教室				振り返り~グループワーク~ 9号館5Fコンピュータ教室			
8月2日 (火)	先進校から学ぶ 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 業成果報告 京都府立 京都すばる高等学校 13号館3F 13-208講義教室	先進校から学ぶ スーパープロフェッショナルハイスクール 事業成果報告 滋賀県立 八幡商業高等学校 13号館3F 13-208講義教室	専門家から学ぶ ~これからの会計教育~(仮題) 日本商業教育振興会代表理事 (公認会計士) 小島 一富士 13号館3F 13-208講義教室	新学習指導要領を踏まえたビジネス情報分野の学習評価の在り方(1) —学習評価の進め方— 太田市立太田高等学校 教頭 石間 英樹 9号館5Fコンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえたビジネス情報分野の学習評価の在り方(2) —学習評価の実践事例— 太田市立太田高等学校 教頭 石間 英樹 9号館5Fコンピュータ教室				振り返り~グループワーク~ 9号館5Fコンピュータ教室							
8月3日 (水)	新学習指導要領を踏まえた授業改善を進めるために(1) 千葉商科大学 准教授 近藤 真唯 客員講師 並木 通男 13号館3F13-208講義教室			新学習指導要領を踏まえた授業改善を進めるために(2) 千葉商科大学 准教授 近藤 真唯 客員講師 並木 通男 13号館3F13-208講義教室				新学習指導要領を踏まえたマネジメント分野の学習評価の在り方(1) —学習評価の進め方— 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也 9号館5Fコンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえたマネジメント分野の学習評価の在り方(2) —学習評価の実践事例— 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也 9号館5Fコンピュータ教室				振り返り~グループワーク~ 9号館5Fコンピュータ教室			
8月4日 (木)	新学習指導要領を踏まえた分野共通の科目の学習評価の在り方(1) —学習評価の進め方— 宮崎産業経営大学社会科学研究所 教授 立木 秀樹 9号館5Fコンピュータ教室			新学習指導要領を踏まえた分野共通の科目の学習評価の在り方(2) —学習評価の実践事例— 宮崎産業経営大学社会科学研究所 教授 立木 秀樹 9号館5Fコンピュータ教室				企業から学ぶ —企業探究— 事業所見学先 (未定) 13号館3F 13-208講義教室				企業から学ぶ —企業探究— 事業所見学先 (未定) 13号館3F 13-208講義教室				振り返り~グループワーク~ 9号館5Fコンピュータ教室			
8月5日 (金)	新学習指導要領を踏まえた会計分野の学習評価の在り方(1) —学習評価の進め方— 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人 9号館5Fコンピュータ教室			新学習指導要領を踏まえた会計分野の学習評価の在り方(2) —学習評価の実践事例— 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人 9号館5Fコンピュータ教室				高等学校学習指導要領改訂と商業教育 文部科学省初中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 田中 圭 13号館3F 13-208講義教室				開講式 13号館2F 13-208 大講義教室							

実施会場：大阪芸術大学 本校（大阪府南河内郡）

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(水産：D-1)

団体名 海文堂出版

日時	8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15		
8月22日 (月)	/				受付	開講式	14:00~15:00 講義 海洋情報技術について(仮題) 文部科学省 西澤副室官	休憩	15:15~16:00 講義 コンピュータの 歴史と情報教育	休憩	16:15~17:15 講義 情報表現方法の 理解と指導法①
8月23日 (火)	8:45~10:15 講義 情報表現方法の 理解と指導法②	休憩	10:30~12:00 講義 論理回路と論理演算	昼食	13:00~14:30 講義 プログラム言語と プログラミング的思考力	休憩	14:45~16:15 実習 プログラムの流れと フローチャート	休憩	16:30~17:15 実習 プログラミング 実習教材の作成		
8月24日 (水)	8:45~10:15 実習 プログラミングの基礎①	休憩	10:30~12:00 実習 プログラミングの基礎②	昼食	13:00~14:30 実習 画像処理プログラミング①	休憩	14:45~16:15 実習 画像処理プログラミング②	休憩	16:30~17:15 実習 プログラミング 課題演習		
8月25日 (木)	8:45~10:15 実習 モデル化と シミュレーション	休憩	10:30~12:00 講義 情報通信ネットワーク とIP通信の仕組み	昼食	13:00~15:30 実習 ネットワーク構築演習	休憩	15:45~17:15 協議 学習指導案の作成と 授業展開について				
8月26日 (金)	8:45~10:15 講義 マルチコプターの 活用事例	休憩	10:30~12:00 見学 三谷水産高校 施設見学	閉講式	/						
日時	8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15		

実施会場：愛知県立三谷水産高等学校（愛知県・蒲郡市）



(別紙様式1)

### 令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(家庭：E-1)

全国高等学校長協会家庭部会

月日 (曜)	午前1 (9時30分～11時)		休憩	午前2 (11時10分～12時40分)		昼食 休憩	午後1 (13時30分～15時)			休憩	午後2 (15時10分～16時40分)		実施 会場
	9:30	10:00		11:10	12:40		13:30		15:10		16:40		
1 8月8日 (月)	【講義】 「家庭科における授業改善の 視点」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 山村 季代	【講義】 「家庭科の学びを深める地域との連携・ 共生の在り方」(仮) 岩手県立花北青雲高等学校 前校長 太田 優子		【講義】授業実践事例 「問題解決的な学習」(仮) 群馬県立館林女子高等学校 教諭 渡邊 邦子		【講義】 「成年年齢の引下げと消費者トラブル」 (仮) 法政大学大学院政策創造研究科 准教授 (公財)消費者教育支援センター 首席主任研究員 柿野 成美						全国 家庭部会事務局 会議室 (千代田区)	
2 8月9日 (火)	【講義】 「食育リーフレット『自分の食事を自分で デザインしよう!』を活用した食育」 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子	【講義】 「最新の栄養計算のポイント」 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子		【実習・講義】 「調理実習指導のポイント(魚のおろし方とだし)」 「調理実習評価のポイント」 東京栄養食糧専門学校 教務部長 金澤 敏文								学校法人食糧学院 東京栄養食糧専 門学校 (世田谷区)	
3 8月10日 (水)	【講義】 「子育て支援」(仮) 田園調布学園大学 子ども未来学部 教授 内藤 知美	【講義】 「高齢期の衣食住生活の質の向上」(仮) 大正大学 社会共生学部 社会福祉学科 教授 宮崎 牧子		【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 山村 季代	14:30	14:45	15:00	アンケート 記入	【閉 講 式】			全国 家庭部会事務局 会議室 (千代田区)	

実施会場：全国高等学校長協会家庭部会事務局、学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校

(別紙様式1)

### 令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(看護：F-1)

団体名 弘前大学大学院保健学研究科

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
8月3日 (水)	(30) 受付	(30) 開 講 式	(120) 10:00-12:00 (講義) 看護科教育の目標及び 内容	(60) 昼休み	(70) 13:00-14:10 (講義) 授業設計の 概要	10 休 憩	(70) 14:20-15:30 (講義) 情報機器 及び教材 の活用法	10 休 憩	(70) 15:40-16:50 (講義) 学習指導 案の作成
8月4日 (木)	(90) 9:00-10:30 (講義) 教育の理念並び に教育に関する 歴史及び思想	10 休 憩	(90) 10:40-12:10 (講義) 教職の意義及 び教員の役割 ・職務内容	(60) 昼休み	(180) 13:10-16:10 (講義・演習) 生徒指導の理論及び方法	10 休 憩	(60) 16:20-17:20 (講義) 高等学校 看護科の 現状		
8月5日 (金)	(180) 9:00-12:00 (演習) より良い学習指導案作成にむけて	(30) 閉 講 式							

実施会場： オンライン会場 (Zoom)

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(情報：G-1)

団体名 大阪芸術大学

日 時	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
8月3日(水)		受付	開講式 13号館 13-208 大講義 教室	新学習指導要領における「情報」の学習指導と学習評価(講義) (文部科学省 13号館2F 13-208大講義教室)			昼休み	「プログラミング」を中心とした情報システム分野における指導の工夫/充実(講義・演習) (奈良女子大学 竹中章勝) 9号館5Fコンピュータ教室					
8月4日(木)		「情報デザイン」を中心としたコンテンツ分野における指導の工夫/充実(講義・演習) (奈良女子大学 竹中章勝) 9号館5Fコンピュータ教室				昼休み	学習科学の視点で考える主体的・対話的で深い学びの実現(講義・演習) (聖心女子大学 益川弘如) 13号館2F 13-208大講義教室						
8月5日(金)		データサイエンス・AIの視点で問題解決を取り入れた指導の工夫/充実(講義・演習) (順天堂大学 大橋真也) 9号館5Fコンピュータ教室			昼休み	教科「情報」における情報セキュリティの指導(講義) (株式会社アールジェイ 石田淳一) 13号館2F 13-208大講義教室	教科「情報」の指導の充実(協議) (京都精華大学 鹿野利春) 13号館2F 13-208大講義教室	閉講式 13号館 13-208大講義教室					

実施会場：大阪芸術大学 本校(大阪府南河内郡)

(別紙様式1)

### 令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(福祉：H-1)

団体名 全国福祉高等学校長会

日 時	9:00	10:00	10:40	12:10	13:00	14:40	15:30	16:10	17:00
8月17日 (水)		開 講 式、 諸 連 絡	講義1 高校生の学びを深める取り組み ～高大連携～ 講師：紋谷洋三 (仙台大学)	昼 休 み	講義2-1 介護福祉士養成に関する動向 講師：鈴木 真智子 介護福祉専門官 (厚生労働省) 講義2-2 高校における介護福祉士養成について 講師：矢幅清司 視学官 (文部科学省)	講義3(見学) 最新の施設見学と活用例 介護実習室に配置している機器類、 介護ロボット等の紹介 講師：堀江竜弥・福田伸雄 (仙台大学)			
8月18日 (木)	講義4 スマート介護①(ICT/介護ロボット) 講師：堀江竜弥 (仙台大学)	講義5 スマート介護②(ICTを活用した授業) 講師：福田伸雄 (仙台大学)	昼 休 み	講義6 認知症支援(VR活用) 講師：福田伸雄・堀江竜弥 (仙台大学) 代案⇒スマート介護に関する討議	講義7 健康づくり運動 講師：田中亨 (仙台大学) 代案⇒スマート介護に関する討議				
8月19日 (金)	講義8 介護過程の教授法① 講師：後藤満枝 (仙台大学)	講義9 介護過程の教授法② 講師：後藤満枝 (仙台大学)	昼 休 み	講義10 地域ボランティア活動の実際 講師：小池和幸/大山さく子 (仙台大学) 代案⇒介護過程に関する討議	講評 矢幅清司 視学官 (文部科学省) 閉講式	※代案はオンライン開催の場合			

実施会場：仙台大学附属明成高校(宮城県仙台市青葉区)

(別紙様式1)

### 令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(技術) : I-1)

団体名 国立大学法人 宮城教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月25日 (月)	受付 9:00-	開講式 (オリ エンテ ーショ ン) 9:30-	(講義) 新学習指導要領における 技術分野の指導 10:00-12:00	昼休み	(講義) 生物育成分野の目的・作物栽培 技術の基礎 13:10-15:10	(講義/実習) 作物管理実習を通じた作物成長 の原理・法則の理解 15:20-17:20			
7月26日 (火)	(講義/演習) 技術分野の学習評価 9:00-10:30	(講義/演習) 電気エネルギー活用 のための原理と法則 10:40-12:10	昼休み	(講義/実演) 材料加工技術の原理・法則と活 用2:2Dデジタル加工技術の活 用 13:10-15:10	(講義/実習) 生活を支える電気エネルギー技 術の活用1 15:20-17:20				
7月27日 (水)	(講義/実習) 生活を支える電気エネ ルギー技術の活用2 9:00-10:30	(講義/演習) 情報の技術の授業 設計 10:40-12:10	昼休み	(講義/演習) 双方向性のあるコンテンツのプログラ ミング 13:10-15:10/15:20-16:20	(講義/演習) 計測・制御のプログラ ミング 16:30-17:30				
7月28日 (木)	(講義/演習) 生活や社会を支える情 報技術(情報モラル) 9:00-10:30	(講義/演習) 生活や社会を支える 情報技術(サイバー セキュリティ) 10:40-12:10	昼休み	(講義/演習) エネルギー変換の技術(機械)にお ける授業設計 13:10-15:10	(講義/演習) STEAM教育の観点から考えるエ ネルギー変換の技術(機械)の 授業 15:20-17:20				
7月29日 (金)	(講義/実習) 課題解決型の制御学習1 9:00-10:30/10:40-12:10		昼休み	(講義/実習) 課題解決型の制御学習2 13:10-14:40/14:50-15:50	閉講式 (諸連絡) 16:00- 16:20				

実施会場：宮城教育大学(宮城県仙台市)

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(家庭): J-1)

団体名 : 埼玉大学

日時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
8月4日 (木)	9:00 開講式 9:05 オン テーショ ン	休憩 十分	9:25-10:45 (80分) (講義)「新学習指導要領に おける家庭分野の指導と評 価」 (担当)熊谷有紀子(文部科 学省初等中等教育局教科調 査官)	休憩 十五 分	11:00-12:00 (60分) (講義)「3年間を見通し た全体的な指導計画」 (担当)熊谷有紀子(文部 科学省初等中等教育局 教科調査官)	昼食	13:00~14:20 (80分) (講義)「食育における食品安 全性」 (担当) 山本和貴(農業・食品 産業技術総合研究機構 食品 研究部門グループ長補佐)	休憩 十五 分	14:35~15:55 (80分) (講義・実習) 「衣生活の文化と浴衣の着 装」 (担当)大矢幸江(昭和学院短 大(非))・川端博子(埼玉大学 教授)	休憩 十分	16:05~ 17:05 (60 分) 情報交換会	片 付 け 十 五 分
8月5日 (金)	9:05 諸連絡	9:15~10:35 (80分) (講義・演習)「幼児の生活と人との 関わり」 (担当) 刑部育子(お茶の水女子 大学教授)・吉川はる奈(埼玉大 学教授)	休憩 十 分	10:45~12:05(80分) (講義・演習)「住まい・住 生活と環境」 (担当) 正岡さち(島根大 学教授)・亀崎美苗(埼玉 大学准教授)	昼食	13:00~14:20 (80分) (講義・演習) 「味覚の授業」 (担当) 島田玲子(埼玉大学准 教授)	休憩 十五 分	14:35~15:55 (80分) (ディスカッション) 「技術・家庭科(家庭分野)に おける指導の充実」 (担当) 吉川はる奈(埼玉大学 教授)、川端博子(埼玉大学 教授)、島田玲子(埼玉大学 准教授、亀崎美苗(埼玉大学 准教授)	休憩 十分	16:05 閉講式 修了証授与 アンケート回 収、諸連絡		

実施会場: 埼玉大学(埼玉県さいたま市)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業 推薦名簿

(様式1)

機関等名		教科名 (注5)	
------	--	-------------	--

推薦順位	フリガナ		年齢・性別等 (R5.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
	氏名		年齢	性別	所属名称		経費負担区分		
			年齢		〒		請求書送付先〒		
			性別				請求書送付先住所		
			職種	所在地	請求書送付先所属				
			担当教科		請求書送付先担当者				
			教職歴		請求書宛名				
TEL									
			年齢		〒		請求書送付先〒		
			性別				請求書送付先住所		
			職種	所在地	請求書送付先所属				
			担当教科		請求書送付先担当者				
			教職歴		請求書宛名				
TEL									
			年齢		〒		請求書送付先〒		
			性別				請求書送付先住所		
			職種	所在地	請求書送付先所属				
			担当教科		請求書送付先担当者				
			教職歴		請求書宛名				
TEL									

記入上の注意

1 この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。

2 この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。  
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)

3 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。

4 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。

5 各教科ごとに別葉としてください。

6 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。

「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2~3ヵ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。  
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は、同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名		所属郵便番号	
フリガナ		所属所在地	
所属電話番号		所属名称	
所属FAX		e-mailアドレス	

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業 推薦名簿

(記入例)

機関等名	〇〇県	教科名 (注5)	B-1
------	-----	-------------	-----

推薦順位	フリガナ		年齢・性別等 (R5.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
	氏名		年齢	性別	所属名称	所在地	経費負担区分	請求書送付先	
1	ツクバ ヒカル		30	男	〇〇高等学校		参加者個人		
	筑波 光		職種	教諭	〒	123-4567	請求書送付先住所	-	
			担当教科	数学	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先所属	-	
			教職歴	5	TEL	12-3456-7890	請求書送付先担当者	-	
			請求書宛名		-				
2	タナカ ミズキ		50	男	××高等学校		公費		
	田中 瑞樹		職種	教諭	〒	234-5678	請求書送付先住所	〇〇県××市××町×-×-×	
			担当教科	美術	所在地	〇〇県××市××町×-×-×	請求書送付先所属	〇〇市立〇〇中学校	
			教職歴	25	TEL	09-8765-4321	請求書送付先担当者	事務屋 三郎	
			請求書宛名		〇〇市立〇〇中学校長				
3	ツクホ ツバサ		40	女	〇〇市教育委員会〇〇部〇〇課 〇〇グループ		公費		
	筑穂 翼		職種	指導主事	〒	765-4321	請求書送付先住所	〇〇県△△市△△町△-△-△	
			担当教科	国語	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先所属	〇〇市教育委員会〇〇部〇〇課	
			教職歴	15	TEL	11-2222-3333	請求書送付先担当者	担当者 一郎	
			請求書宛名		〇〇市教育委員会教育長				

記入上の注意

1 この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。

2 この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。  
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)

3 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。

4 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。

5 各教科ごとに別葉としてください。

6 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。

「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2~3ヵ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。  
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名		所属郵便番号	765-4321
フリガナ		所属所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
所属電話番号	00-0000-0000	所属名称	〇〇県〇〇局〇〇部〇〇課
所属FAX	11-1111-1111	e-mailアドレス	xxxx@xxx.xxx.jp